

「神戸市介護事業者様向け安心運転セミナー」アンケート結果

◆研修内容 神戸市老人福祉施設連盟協賛 安心運転セミナー

◆実施日 2025年3月6日(木)

1. 研修全体について

(1) セミナー参加者

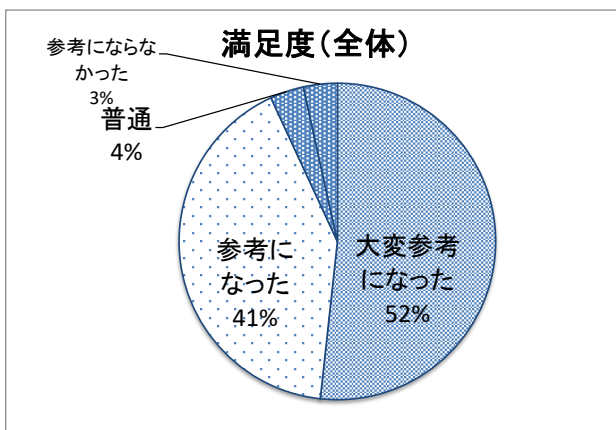
①神戸市介護事業者様向けに参加者を募集。

- i) 参加者: 29名
- ii) 参加法人: 14法人

②アンケート回答者数 29名

(2) 満足度(全体)

- ①大変参考になった 52%
- ②参考になった 41%
- ③普通 4%
- ⑤参考にならなかった 3%



(3) 講習項目について

① 運転ぶりビデオ診断ふりかえり

3名の参加者にビデオ診断を体験していただき、運転ぶりを振り返りながら、講習を行った。自身の運転を見直す良い機会として、毎回高い評価をいただいている。

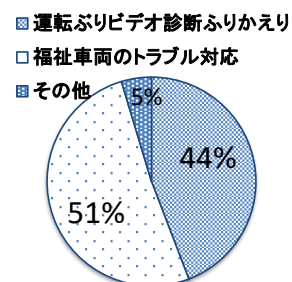
② 福祉車両のトラブル対応

マニュアルをみながら福祉車両の架装部分トラブル時の対処方法を説明。
ハイエース、キャラバンの実車を使用し、ディーラーや大阪ガスオートサービスの整備士より説明を行った。

③ 講習についての要望・ご意見

- ・今までも数回リフトが戻らない事があり大変でした。今回の研修で対応が学べた事はとても参考になりました。
- ・定期的に受講することで安全運転を再確認出来る。
- ・緊急トラブルに関して見聞きしただけでは通用しない。
- ・外での講習は寒いとき、暑いときはづらい。

満足度(講習項目別)



2. 車両管理状況

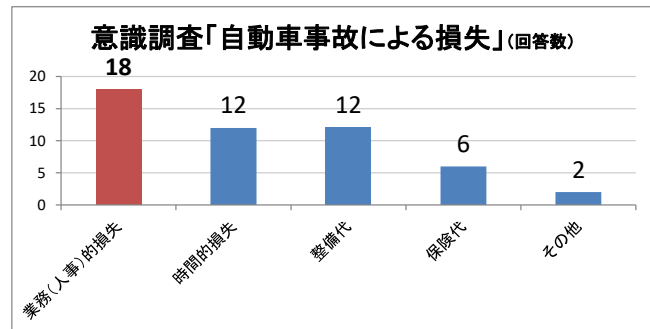
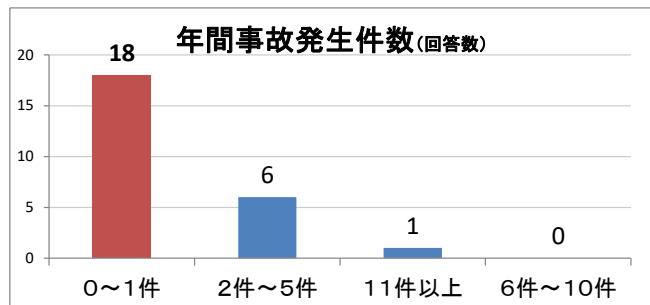
(1) 保有台数と事故に対する意識

1事業所あたりの保有台数は、5台未満が多く
事故は、年間0～5件が多い。

事故に対する意識については、下記の順に関心が高い。

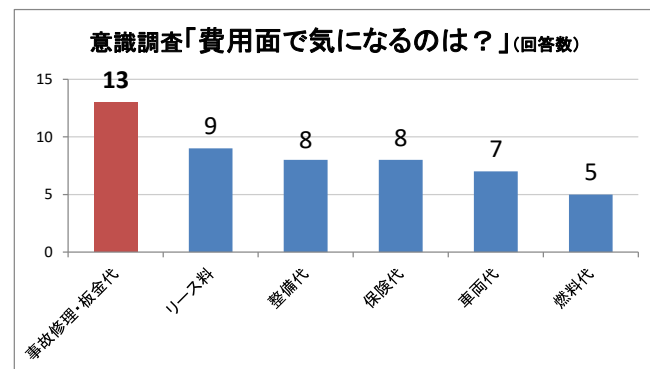
- ①業務(人事)的損失
- ②時間的損失
- ③整備代

施設に対する信用・信頼の低下を懸念される声もあった。



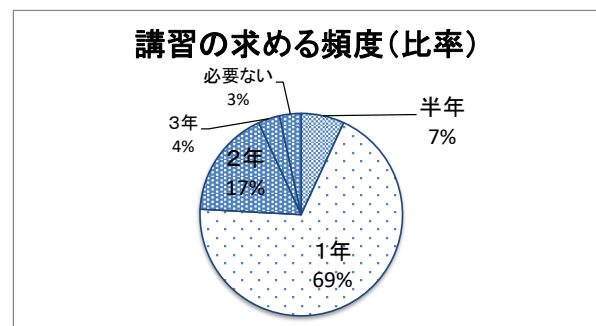
(2) 自動車の経費削減

事故修理・板金代、リース料への意識が高い。
部品代や人件費高騰により、修理代が上がっている。
また、昨今は法規対応により安全装置が追加されるなど
価格改定により、全ての車両の金額が上がっている状況。



(3) どのくらいの頻度で講習を希望するか？

約70%の方が1年に1回の頻度で
安心運転セミナーを希望。



3. 今後受けてみたい研修

<アンケートより抜粋>

- ・高齢者が見える視野の範囲(乗車時や信号を渡る時、どこを見てどこを見ていないのか等)
- ・住宅地etcの危険箇所(運転、送迎時)
- ・福祉施設、事業所でのICTの活用
- ・各々施設の送迎課題など意見交換会
- ・送迎時の接遇、マナー研修

以上